

市民の願いで政治を動かす 日本共産党

原発事故の放射能除染を市民とともに

8年前の福島第1原発の事故で、鎌ヶ谷市も深刻な放射能汚染となりました。日本共産党の議員は、公園や広場の放射能を測定し、放射線が異常に強い「ホットスポット」が見つかったら、その場から市役所に電話をして除染をさせました。

日本共産党による公園・遊園等放射線量測定値 2011年10月18日
計測機器：堀場製作所製「Radi」(PA-1000)

調査公園・遊園名	調査日時	測定場所	地表5cm(μ Sv)
道野辺本町公園	2011.10.18 (10～)	1 砂場	0.180
		2 すべり台下	0.137
		3 すべり台下裏	0.204
		4 盛り土の樹木根もと	0.360
		5 公園の南東側草むら	0.230
		6 鉄棒下	0.189
		7 公園中央	0.168
西本田公園	2011.10.18 (11:30～)	1 すべり台下	0.185
		2 砂場	0.159
		3 中央の植え込み下	0.192
		4 南側・芝の上	0.245
		5 ゴミも混入した除草が寄せてある所	1.100
		6 公園内の排水溝	0.195

東海第二原発の再稼働は許しません!

子どもの医療費助成拡大を粘り強く

県民と日本共産党との粘り強い運動で、県による子どもの医療費助成を、入院は中学3年まで、通院は小学3年生まで拡大。鎌ヶ谷市でも女性団体など市民と共同で粘り強く取り組み、通院も中学3年まで医療費助成を拡大させました。



生活保護の改善求める

シングルマザーの生活保護世帯にとって命綱の「母子加算」。安倍政権はこれを無慈悲に減額しましたが、改悪やめよと市議会で奮闘しました。



年々、夏の暑さの厳しさが増す中、生活保護世帯にエアコン設置をと、市に要望。就学援助金の事前支給も実現しました。

暮らし、福祉、教育最優先の市政を!

市民の命と暮らしを守るため

国・県にもしっかりとものを言う議員が必要です

下総基地から落下物 防衛省に直接安全対策を迫る

3月7日、下総基地から気象観測用バルーンにつけたまま飛ばした充填用バルブ(146g)が民間企業の敷地内に落下しました。被害はなかったものの、人命にかかわるような重大事故であり、許されません。

3月22日、佐竹ともゆき鎌ヶ谷市会議員、松原よし子党市医療介護相談室長は、しばかずゆき、浅野ふみ子党県両副委員長とともに、防衛省に対して飛行時間制限や落下物防止対策を強く申し入れました。佐竹市議は防衛省に届いていなかった周辺3市の要望書を手渡し、改善を迫りました。



制度が変わり値上げ圧力が

昨年4月に国民健康保険の制度が変わり、今後は県の決めた「標準保険料率」への引き上げ圧力が強まります。

国・県言いなりに保険料を上げれば、鎌ヶ谷市でも年収400万の4人家族で3万2700円、年収280万の高齢者夫婦でも1万2700円の値上げになります。

公費1兆円で一人3万引き下げを

2015年12月市議会での保険料値上げに反対したのは、日本共産党だけです。日本共産党は、公費1兆円の投入で、中小企業が加入する「協会けんぽ」並みに、1人3万円の引き下げを求めています。

議案に対する各党派の態度(× 反対 ○ 賛成)

議案	共産	自民	公明	その他
15年12月 国保料値上げ	×	○	○	○
17年12月市議 ボーナスアップ	×	○	○	○

生活道路・通学路改善の優先を

日本共産党が実施した市民アンケートでも、まちづくりで市に望むことのトップが生活道路の改善です。

特に木下街道(県道59号)は、大型車の交通量も多いのに、歩道が狭く大変危険です。日本共産党は県議会でも、市議会でも、住民の声を届け、くり返し改善を求めています。

国・県が推進する大型道路より、生活道路・通学路などの安全対策などを急ぐべきです。



市民アンケートのまちづくり要望トップ3

- 1位 生活道路整備や交通安全対策
- 2位 狭い道路の拡幅
- 3位 水害・震災などの防災対策

夏の参院選

野党共闘の勝利と日本共産党の躍進で 消費税増税ストップ! 9条改憲NO!

アベ政治にサヨナラを!



党副委員長 参院比例 しばかずゆき



党副委員長 参院選挙区 浅野ふみ子